



玉川通信

学校だより NO 8
平成28年12月号
昭島市立玉川小学校
校長 岡部 操

自主的、実践的な児童会活動で社会のために

副校長 大友 基裕

校庭の木々が色付き始め、朝晩の寒さが身にしみる季節となりました。

11月19日の展覧会・学校公開には多くの保護者、地域の方々にご来校いただきました。美術館のように華やかな装飾を施された体育館に子供たちの個性あふれる作品が展示され、たくさんの賞賛の声をいただきました。また、学校公開では、授業中や休み時間などを通して、子供たちの学校生活の様子をご覧いただけたと思います。

アンケートへのご協力もありがとうございました。

児童会による岩泉募金活動

8月下旬に発生した台風10号は、岩手県岩泉町にも甚大な被害を及ぼしました。昭島市の姉妹都市として、国内交流事業等、様々な交流を行ってきた岩泉町が大変なことになっているというニュースが流れると、子供たちから何かできることはないかという声があがりました。

4月の熊本地震の時に、代表委員会で、「熊本の人たちを何か支援することはできないか」という一途な思いから6月に募金活動が提案され、実行されました。この時の経験が基になり、代表委員会において、岩泉募金活動が提案され、10月に募金活動を行いました。

熊本募金の時に、集めたお金の送付先や送付方法が問題になり、役員の子供たちが送付先を調べました。すると、募金にはその送付先によって「義援金」と「支援金」という2つの種類があることもわかりました。「義援金」は主に被災者に配分される仕組みとなっており、「支援金」は現地で支援活動をおこなっている団体に配分される仕組みであることがわかりました。そこで集めたお金は昭島市に預かってもらい、昭島市から送金し



てもらうことになりました。代表委員会から6年生の高橋秀賢くん、小林凧さん、丸山柚奈さんが代表として、昭島市役所を訪問し、昭島市教育委員会の小林教育長に集めたお金をお渡しすることができました。(上の写真は、教育長に代表児童が募金をお渡しした後に撮影した写真です。) 今回の訪問は、代表委員会代表の子供たちにとって大変貴重な経験となりました。

本校の子供たちのために二度も時間をつくってくださった教育長はじめ昭島市教育委員会の方々に感謝申し上げます。

学習指導要領に示されている児童会活動の目標である「自主的、実践的な態度」が発揮され、「よりよい学校生活づくりに参画」している本校の代表委員会の活動は、賞賛に値します。人のため、社会のためにみんなでできることはないかという純粋な思いが実現した活動となりました。

募金活動へのご理解、ご協力ありがとうございました。

平成28年も最後の月となりました。この1年間、保護者の皆様、地域の皆様にはたくさんのお力添えをいただき、心より感謝申し上げます。来年もよろしく願いいたします。よい年をお迎えください。

11月18日(金)・19日(土)の2日間、展覧会が行われました。多くの方々に、子供たち一人一人が想像力を働かせ、試行錯誤し、思いを込めて作り上げた作品をご覧いただくことができました。会場の準備、片付けでは高学年の児童が中心になり、展覧会を作り上げました。児童鑑賞日には、異学年同士のペアで鑑賞を行い、お互いの作品を紹介し合ったり、良かったところを伝え合ったり、子供たちの笑顔が輝く展覧会となりました。展覧会に向けての作品作りや作品鑑賞を通して、豊かな情操を育むことができたと思います。ご来校くださった保護者・地域の皆様、ありがとうございました。



人権パネル展

人権教育担当 池田 道・中村 紀子・井上 ゆみか

今年も人権週間に合わせて、人権パネル展が開催されます。

玉川小学校では、「～自分も友達も大切にする、豊かな心の育成～」をテーマに、日頃の教育活動の中で行っている人権教育についての取組をパネルで紹介します。

ぜひご覧いただき、ご家庭でも「人権」について、お子さんと一緒に考えてみてください。



期間 12月19日(月)～22日(木)
場所 昭島市役所 1階市民ロビー

調理実習をしました！

5年担任 花田 耕仁郎・小島 佑介

家庭科の「食べて元気に」という単元では、五大栄養素とそのはたらきについて学びました。そして、実際にごはんとみそ汁を調理しました。

朝から米をとぎ、吸水させておき、鍋の中で勢いよく炊けていく様子に、驚いている姿が見られました。また、煮干しからだしを取り、みそ汁を作りました。自分たちで作ったみそ汁はとてもおいしく、残すことなく全て食べることができました。

保護者の皆さま、ご協力ありがとうございました。次はミシンを用いてナップザック作りに挑戦します。みんな楽しみにしています。

